

季節風

2015.11.24

No.28

山鹿市立鹿北中学校
文責：郡 一路

□防災教育フォーラム□

十五日（日）、市役所内の交流ホールにて、県内より約一〇〇名の方が参加され、防災教育フォーラムが行われました。八月の防災キャンプで学んだことや感じたことを、本校生徒会執行部が堂々と発表してくれました。「被災者から支援者へ」、「地域から守られる存在から、地域の方々を守る事ができる存在へ」と成長することが



大切との決意に対して、参加された方々より共感の拍手をいただきました。鹿北中の伝統である「防災教育」。この取組を通して、一人ひとりが地域の一員としての自覚をもち、自立した人へと育っていくことを期待しています。地域の方々（鬼塚さん・芹川さん）の発表を通して、「チーム鹿北」の団結力

◇義務教育学校◇

学校教育法が改正され、平成28年4月1日より、現在ある「小学校」、「中学校」とともに、小中一貫教育を行う「義務教育学校」が新たに学校の種類に加えられます。

9年間の一貫教育として、現在の小学校6年間、中学校3年間の区切りを、「4・3・2制」や「5・4制」に変更することもできます。より柔軟な教育実践を行うことができます。中学校の学習内容を小学校段階で先取りしたり、教育内容の実施学年を入れ替えたりすることもできます。そして、「中一ギャップ」の解消も期待されています。小学校の先生が中学校の授業を、中学校の先生が小学校の授業をするなど幅広い交流が行えます。何より、9年間の連続した「学び」を充実させることができます。

今ある小・中学校を「義務教育学校」にできるので、小中学校が隣接する鹿北小と鹿北中は「義務教育学校」とすることも可能となってきます。

をアピールすることができました。

フォーラム後半は、熊本大学の竹内裕希子准教授をコーディネーターとして、パネルディスカッションが行われました。地域の方々と中学生がお互いの顔がわかる関係構築が防災・減災にとって大切であること、学校の教育実践の視点を変えることで防災につながるなど、意見交換をしました。たとえば、日頃からの挨拶をすることが、つながりの第一歩となるということです。地域とのつながり重要性を強く感じることができたフォーラムとなりました。

愛知県豊川市より来校へ視察研修

十八日（水）の午後、愛知県豊川市教育委員会指導主事が来校され、授業参観や校内研究についての意見交換を行いました。授業は、社会科と数学科の授業を参観されました。社会科の授業では、授業に取り組む姿勢、自分の意見をはっきりと伝える姿に驚かれました。

数学科の授業では、生徒がお互いにアドバイスをし合う姿、積極的に質問する姿に、学習に対する意欲があり、とても素晴らしいとの感想をいただきました。あらためて、鹿北中生徒の「当たり前レベル」の高さを実感しました。

